

昨年同様約8割の企業で賃金の引上げを検討  
 ～平成31年「賃金改定に関する経営者意識調査」結果～

市内企業427社を対象に実施した「賃金改定に関する経営者意識調査」（調査期間平成31年1月7日から1月25日、回答数197社・回収率46.1%）の結果をまとめ、最近の賃金関係の動向もあわせて、2月20日に朱鷺メッセで説明会を開催しました。調査結果は次の通りです。

賃金改定見直しについて

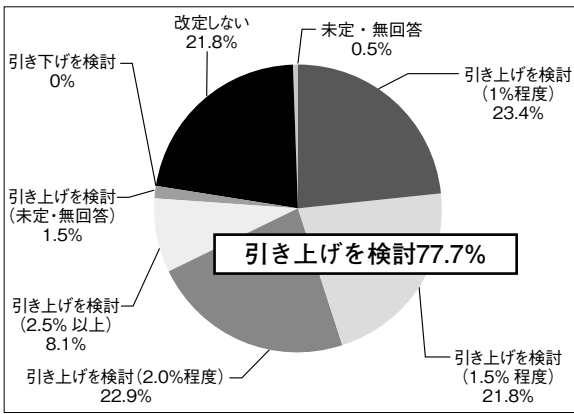


図1 平成31年の賃金改定見直しについて

「賃金引き上げを検討する」とした企業割合が、77.7%（前年比▲0.1%）となりました。なお、引き上げ率については、「1%程度」とする回答割合が増加し、「2.5%以上」が8.1%（前年比▲3.5%）、「2.0%程度とする」が22.9%（前年比▲0.3%）となるなど、やや低くなる見通しとなりました。改定し

ないとした企業は21.8%（前年比+0.1%）、引き下げを検討するとした企業はありませんでした。（図1参照）

「賃金改定において最も重視すること」（複数回答）

「企業業績」が42.5%（前年比+3.1%）、「雇用の確保と定着」が27.1%（前年比+4.1%）、世間相場が13.0%（前年比▲0.8%）、「労使関係の安定」が10.0%（前年比▲1.8%）の順となりました。

「人件費負担対策として最も重視する要素について」（複数回答）

「人員配置・作業方法の改善」が前年同様最も多く33.2%（前年比+4.3%）、次いで「コスト削減」が29.9%（前年比+4.8%）となりました。また、「新製品開発・新規顧客開拓」が11.4%（前年比▲3.0%）、「機械設備等の導入拡大による省力化」が13.3%（前年比▲0.8%）となるなど、コスト削減や効率化などを図る企業割合が増加しました。（図2参照）



賃金関係説明会の様子

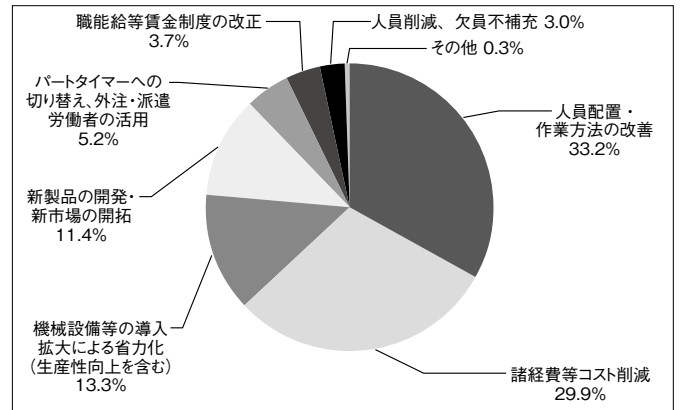


図2 人件費負担対策として最も重視する要素について

中心市街地活性化に関する要望書を新潟市に提出



中原市長（中央）に要望書を手渡す  
 福田会頭（右）と前川中心協理事長

新潟中心商店街協同組合（中心協）と連名で、1月31日に「新潟市の中心市街地活性化に関する要望書」を新潟市の中原市長ならびに永井市議会議長に提出しました。

今回の要望書では、古町地区の再生・活性化は新潟の将来を左右する重要な項目で、早期着手が必要との認識のもと、「新潟市の主導による西堀ローサの将来像の検討及び再生に向けた取組」、「新潟三越閉店後の跡地活用に向けた支援や、閉店前後における周辺エリアの活性化施策強化」、「エリアマネジメント組織設立や総合案内所設置、空き店舗対策等の施策の検討及び具現化に向けた支援」を新潟市に要望しています。要望書の詳しい内容については、当所ホームページをご覧ください。

「選ばれる新潟市の未来図」について新潟市へ提言  
政策委員会

政策委員会（宮沢啓嗣委員長）は、2月13日、「人口減少社会において選ばれる新潟市の未来図に向けた提言書」を新潟市へ提出しました。

同提言は、人口減少による労働力や税収不足から、様々な問題が懸念されることから、「行ってみたい、住んでみたい」と思わせる都市の魅力とはどういうものかを議論し、2030年頃の新潟市中心部の未来図を想定して取り纏めたものです。

提言では、6割が県外の大学等へ進学し、県内大学生も就職を機に県外へ流出してしまう現状や都市としてのキラークンテンツやエリアイメージが弱いなど、新潟市が抱える



高橋副市長(右から二人目)に提言書を手渡す  
政策委員会正副委員長

現状と課題を踏まえて5つの方向性  
①「企業活動によって経済活力が活発化しているまち」②「国際交流拠点として都市間のアクセスやゲートウェイ機能に優れ、環境面において先進的なまち」③「若者が早くから地元企業に関心を持ち、優秀な人材が産業を担っているまち」④「訪れた人が、住んでみたくなる魅力的なまち」⑤「市民が生きがいと誇りを持って生活できるまち」を目指すとされており、それぞれで具体的方策を提案しています。

小規模事業者の販路開拓を支援  
地域うまいもんマルシェ



当所出展ブース

「日本百貨店しよくひんかん」（東京・秋葉原）と連携し、日本商工会議所が開催している「全国から毎週集まる！地域うまいもんマルシェ」に1月22日～28日の間、当所会員事業所3社が出店し、米どころ新潟

ならではの米粉おやきや笹団子、新潟名産八珍柿のドライフルーツ、醤油や調味料などを出品しました。

商品販売やPR、消費者ニーズを把握して商品改良等に活かす「テストマーケティング」の場として情報収集に努め、出店者からは「外国人など、地元以外のお客様の声を直接聞くことができ、貴重な機会となった」、「商品が美味しければ売れる」と思っていたが、パッケージデザインや販促物など、改良しなければならぬことがたくさんある」などの感想が寄せられました。

和ハーブボール作りで素敵なお会いを  
婚活イベント

单身男女の出会いの場を提供するイベントを1月20日、市内のレストランで開催しました。（主催：当所、新潟県「あなたの婚活」応援プロジェクト補助事業）

当日は、相手に好印象を与える身だしなみや話し方などに関する、男女別のコミュニケーションセミナーを開催したほか、ハトムギや柚子といった和のハーブを用いたマッサージボールを参加者同士協力し合いながら作製しました。

その後の懇親会は会話も弾み、男女各18名の参加者の中から7組のカップルが誕生しました。

業績拡大につき協力会社様大募集！

新潟工場（北蒲原郡聖籠町東港6-5516-3）でユニットハウスの生産業務（板金・溶接・塗装・工場内作業など）をしていただける協力会社様を募集しています。

<会社概要>

設立：1969年12月5日、従業員数：約1,300名  
売上391億円、経常利益53億円（2018年3月期）で業績拡大中！  
事業内容：ユニットハウスの製造、販売、レンタル

<契約形態>

工場内業務請負による生産業務

安定した仕事・事業拡大・新規参入（異業種歓迎）をお考えの会員様は  
まずはお気軽にお問い合わせください！工場見学も随時受付中！

お問い合わせ：三協フロンティア株式会社（JASDAQ上場）

0120-952-771（月-金9:00～17:00）

<http://www.sankyofrontier.com/>

